

製品名: リン酸化 CD18 (Ser745) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84856**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 85 kDa; Observed MW: 85 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-CD18 (Ser745)
別名	ITGB2; CD18; MFI7; Integrin beta-2; Cell surface adhesion glycoproteins LFA-1/CR3/p150; 95 subunit beta; Complement receptor C3 subunit beta; CD antigen CD18
遺伝子 ID	3689.0
SwissProt ID	P05107
免疫原	ヒト CD18 の Ser745 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

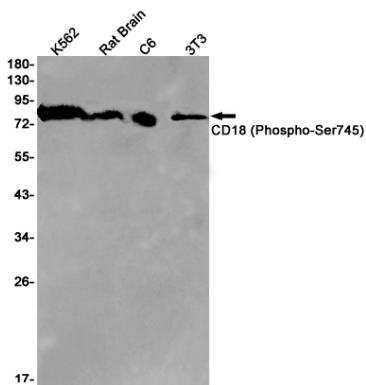
背景

インテグリン α -X/ β -2 は、フィブリノーゲン α 鎖の G-P-R 配列を認識します。インテグリン α -M/ β -2 は、フィブリノーゲン γ 鎖の P1 および P2 ペプチドを認識します。インテグリン α -M/ β -2 は、第 X 因子の受容体でもあります。インテグリン α -D/ β -2 は、ICAM3 および VCAM1 の受容体です。

研究分野

-

画像データ



リン酸化 CD18 (Ser745) 抗体を使用した、K562、ラット脳、C6、3T3 溶解物中の CD18 (リン酸化 Ser745) のウエスタン ブロット分析。